

北の沢眼鏡橋

煉瓦造りのアーチ橋

北の沢川(辰野町)の谷を最短ルートで渡ることができるように造られた橋。

1889(明治22)年に完成。

橋台が石積み、アーチ部は煉瓦積みで、「眼鏡橋」と呼ばれた。^{めがね}

国登録有形文化財及び信濃の橋百選に選定されている。



国道脇に広場があり、案内看板もある。綺麗に整備されている眼鏡橋



橋面が曲線になっている下流側



information

□ アクセス

飯田線羽場駅から
700m
徒歩→9分
伊北ICから5km
車→10分

□ 所在地

辰野町羽場



田切地形

伊那谷を南北に縦断する三州街道(現国道153号)は、河岸段丘がつくる多くの田切地形のため、渡河に苦労してきた。この地は、伊那谷最北の田切地形である。

近代化遺産

戦後の改良で道自体が役割を終え、放置されていたが、近代化遺産として近年注目されるようになった。道路上からは見えないが、沢へ下る道も整備されて容易に見学できるようになった。また、下流側にはアーチ型の橋面が残っている。



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)